

会員通信 No.267

岩手県俳人協会事務局
〒020-0001岩手県盛岡市上米内字赤坂1-60 二階堂光江方
電話019-661-4816 振替02310-1-13697

第45回岩手県俳人協会総会・新年俳句会終了

…講師に吉田千嘉子本部幹事・新年俳句会賞は古川和子氏…

新年度を迎えて

会長 白濱 一羊

会員の皆様におかれましては、御健吟のことと存じます。

新型コロナウイルスの問題が起きてから一年が過ぎましたが、未だに解決の見通しは立っておりません。昨年はほとんどの俳句大会が中止となつてしまい、今年の開催も危ぶまれる状況です。

そのような中、1月23日(土)に岩手県俳人協会の総会をホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにて開催し、新年度の事業計画・予算を承認していただきました。今年は東北大会が岩手で開催される予定となっておりますが、その実施についても承認いただきました。どのような形で実施すべきかについては、アンケートで東北各県の希望を把握した上、役員会で検討した結果、紙上句会での開催と決定いたしました。変則的な開催方法となりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

いずれにしましても、この状況の中、岩手の俳句活動が途切れることのないように、努力したいと思いますので、会員の皆様のお力添えをよろしくをお願いいたします。

昨年度は、11名もの新会員をお迎えできました。声を掛ければ入会してくださる方が、身近にいらっしゃるかもしれません。ぜひ、積極的なお声掛けをお願いしたいと思います。

くれぐれもご健康に留意なさりながら、今年も俳句を良き伴侶としてお過ごしください。

◇令和3年度岩手県俳人協会事業予定

◇第45回総会・新年俳句会(実施済み)

・期日 令和3年1月23日(土)

◇会員作品集発行(第43集)

・令和4年1月1日発行予定 ・会員自選10句掲載
・会員に1部配布(一般頒布1,000円)

◇俳句普及事業の推進

・公民館等の「俳句講座」への講師派遣
・公民館等への講師派遣事業の拡大、案内 他

※講師派遣のご希望がある場合は、お早めに、普及部長及川永心(019-645-2418)
または、事務局二階堂光江(019-661-4816)宛ご相談下さい。

◇第32回(公社)俳人協会東北俳句大会・岩手大会の開催(紙上句会 2ページ参照)

*今年度は東北俳句大会・岩手大会開催のため、鍛錬会は実施しません。

◇令和3年度新会員の推薦について

新しい会員の推薦を受付いたします。同封の会員推薦要領をご覧いただき、『会員推薦書』用紙に記載の上、事務局宛送付下さい。(3月20日締切) *本人の了解を必ず頂いて下さい。

◇令和2年度会費納入のお願い

・年会費 6,000円 *同封の振込用紙で3月中の納入をお願いいたします。
*振込料は各自負担となります。よろしくお願いいたします。

◇第32回（公社）俳人協会東北俳句大会・岩手大会は、紙上句会として開催

第32回東北俳句大会・岩手大会は、今年9月の開催を目指しておりましたが、新型コロナウイルスの終息を見通せない状況を鑑み、昨年と同様、紙上句会として開催することにいたしました。たくさんの投句が集まり充実した大会になりますよう皆様のご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

<第32回東北俳句大会・岩手大会（紙上句会）>

- 1、投 句 ○2句1組（雑詠・未発表・一人何組でも可）
○投句料 1組につき1,000円（大会案内に同封の振込用紙にて送金）
○投句締切 令和3年5月31日（月） ○投句先 岩手県俳人協会事務局
 - 2、選 者 本部選者・東北各県選者
 - 3、入選発表 入選作品集を作成し、9月末までに各投句者へ送付
 - 4、表 彰 大会賞・選者特選賞の方々に賞品を送付
- *大会案内・投句用紙等は、3月末までに発送の予定です。もうしばらくお待ち下さい。

（3ページのつづき）

がくら漬寄せて始まる連夜経	馬場 吉彦
大地震の名残りや窓の隙間風	川村 健
去年今年木の椅子を読む声にして	鈴木 睦子
弟妹の分を生かさされ初日の出	佐藤たけ子
冬の星老テノールのアベ・マリア	山火 律子
復興を懸けて十年浦の春	大石 文雄
☆馬場吉彦先生 特選（順に天・地・人賞）	
冬の星老テノールのアベ・マリア	山火 律子
蕪川の無人販売雪催	村井 好子
初釜や濃茶畏み笑み交はず	浅田 白道
入選（七句）	
逆光に銀の糸曳く雪迎へ	佐々木典子
小さき居間の小さき座卓賀状書く	齊藤 径子
鑑真の静かな御目風花す	阿部ゆき子
あかときを炭焼の父発ちにけり	篠村恵美子
コロナ禍や肅肅経の成道会	高橋 洋子
虎落笛うづく扁桃腺の痕	大平 春子
羚羊と確と眼が合ふ山田線	谷藤 政子
☆澤口航悠先生 特選（順に天・地・人賞）	
福藁に遊び疲れの仔牛かな	及川 忠子
春小袖母の手首に輪ゴム跡	佐々木一夫
ブラバンの響く池端白鳥来	木関 偕楽
入選（七句）	
少女らの半眼美しき吹始	佐々木典子
初湯船五体すみずみまでのち	岩渕 正力
百才をめざす体操事始	菅野 好子
靴先を絡めてみたき焚火跡	野村 亮子

冬の星老テノールのアベ・マリア	山火 律子
たつぷりと米の研ぎ汁大根煮る	片方みち子
新巻を風に泳がす河原市	畠山 濁水
☆及川茂登子先生 特選（順に天・地・人賞）	
福藁に遊び疲れの仔牛かな	及川 忠子
菩提寺をつつむ老杉初茜	浅田 哲心
新巻を風に泳がす河原市	畠山 濁水
入選（七句）	
大地震の名残りや窓の隙間風	川村 健
廻り神楽果てたる宿の静寂かな	村井 康典
百才をめざす体操事始	菅野 好子
里に降りし羚羊の眼の静かなり	山火 律子
歳時記にことばを探す筆始	吉田香代子
着ぶくれてただただ見上ぐ防潮堤	木村 耀子
なりきつて神に鬼にと里神楽	佐々木八千代
☆及川永心先生 特選（順に天・地・人賞）	
古書店古書に埋もるる去年今年	吉田 茂樹
彩雲の天の余白を雁渡る	畠山 濁水
途中より数へてをりし除夜の鐘	小畑 柚流
入選（七句）	
はひはひの子が占領の冬座敷	瀧澤マツノ
不自由な暮らしにもなれ年迎ふ	中嶋 広江
潮仏より剥がれたる波の花	小林 輝子
新巻の眼にのこる命かな	菅原 如空
万感を一字にこめて賀状書く	千田 勝子
山ひとつ越え来て御慶申しけり	岡部 玄治
戸から戸へ配る足跡今朝の雪	相馬 定子

☆新年俳句会賞(吉田千嘉子先生選)

木の葉散る昨日の上へ今日をのせ 古川 和子

☆吉田千嘉子先生 特選(四句)

はひはひの子が占領の冬座敷 瀧澤マツノ
地方紙に包み大根の里便り 千田 勝子
岩手山望む高さに木守柿 永澤千恵子
なりきつて神に鬼にと里神楽 佐々木八千代

入選(十七句)

曲屋の木組みの美しき淑気かな 和田 タケ
千支七巡覚悟の五年日記買ふ 杉田 春雄
冬銀河薩摩切子に閉ぢ込めり 小山 尚宏
冬の鳥群れて一つの大水輪 深澤 洋子
啼き交はす声の明るき白鳥湖 阿部ゆき子
万感を一字にこめて賀状書く 千田 勝子
日向ぼこ胡坐の中に猫ねむり 伊藤さとし
梵鐘のいんいんわたる初山河 梅森 サタ
もう兄の背に隠れぬ寒稽古 及川 永心
東雲に力を秘めて初日の出 津志田 武
廻り神楽果てたる宿の静寂かな 村井 康典
歳時記にことばを探す筆始 吉田香代子
双六の指が楽しくなつてをり 澤口 航悠
紅筆に息ととのふる寒の入り 岡部 玄治
福藁に遊び疲れの仔牛かな 及川 忠子
新巻を風に泳がす河原市 島山 濁水
どんと焼片目の達磨まだ燃えて 小野寺東子

◇講師講評

ご来盛頂けなかつた、講師の吉田千嘉子先生より、文面により講評を頂戴いたしましたので紹介します。

○新年俳句会賞

「木の葉散る昨日の上へ今日をのせ」

日一日と冬に近づいて行く情景である。「昨日の上へ今日をのせ」の措辞が秀抜で、時の経過と共に寒さに向かう心情を、理知的に詩的に詠んでいる。次第に積もってゆく落葉はやがて、朽ちて土となり多くの物を育んでゆく。輪廻をも思わせて深い句である。

○講師特選

「はひはひの子が占領の冬座敷」

冬座敷を占領しているという、這い這いの子の旺盛な生命力が見えてくる。微笑ましい一句。

「地方紙に包み大根の里便り」

地方紙にはその土地の情報が詰まっている。離れ住む家族に送るのは、大根と古里の空気という愛情である。

「岩手山望む高さに木守柿」

山頂に雪を頂く頃の岩手山は殊の外美しい。その名峰を背にした木守柿の光景は、岩手人の原風景だろう。

「なりきつて神に鬼にと里神楽」

神にも鬼にもなりきつて演じるお神楽。対極にあるように見えて、或いは同じかも知れないと思わせられる。

☆白濱一羊先生 特選(順天・地・人賞)

双六の指が楽しくなつてをり 澤口 航悠
新巻を風に泳がす河原市 島山 濁水
どんと焼片目の達磨まだ燃えて 小野寺東子

入選(七句)

逆光に銀の糸曳く雪迎へ 佐々木典子
おとなしく曳かるる犬や返り花 菅野 啓子
隠し田のやうな一枚冬ざるる 安達 広子
大地震の名残りや窓の隙間風 川村 健
梵鐘のいんいんわたる初山河 梅森 サタ
廻り神楽果てたる宿の静寂かな 村井 康典
寒林のあはひあはひの透きとほる 円子 涼子

☆小畑袖流先生 特選(順天・地・人賞)

曲屋の木組みの美しき淑気かな 和田 タケ
袖湯して色なき滑り纏ひけり 相馬 定子
新巻の眼にのこる命かな 菅原 如空

入選(七句)

着ぶくれや煩惱尽くることのなし 田辺 厚生
がくら漬寄せて始まる速夜経 馬場 吉彦
廻り神楽果てたる宿の静寂かな 村井 康典
歳時記にことばを探す筆始 吉田香代子
山ひとつ越え来て御慶申しけり 岡部 玄治
新巻を風に泳がす河原市 島山 濁水
どんと焼片目の達磨まだ燃えて 小野寺東子

☆小林輝子先生 特選(順天・地・人賞)

はひはひの子が占領の冬座敷 瀧澤マツノ
千支七巡覚悟の五年日記買ふ 杉田 春雄
雪降るやむがあしむがしあつたけずおん 篠村恵美子

入選(七句)

禍を福に念じ糾ふ左縄 岩瀬 正力

◇盛岡市立図書館新春俳句会入選作品（持ち回り選考）

○大会賞（白濱一羊先生選）	心地よき冷えを纏ひて賀状くる	相馬 定子
○図書館賞（小畑柚流先生選）	赤べこの首もふるえる初笑	工藤 幸子
○同 賞（名久井清流先生選）	シードルの泡透かし見る初御空	内藤 麻子
○白濱一羊先生特選	寒行僧うす刃のごとくよぎりけり	岡部 玄治
○小畑柚流先生特選	潮騒の絶えることなき初景色	佐々木 充
○名久井清流先生特選	短日やルーブリーフで手紙来る	工藤 陽子
○二階堂光江先生特選	盲導犬確と寄り添ひ初電車	木関 偕楽
寒行僧うす刃のごとくよぎりけり		岡部 玄治
○北田祥子先生特選	生かされて生きる喜び初御空	太田加留子
	淑気満つ衣桁にかかる紐いろいろ	山火 律子
○五日市明子先生特選	竜の玉都會育ちの漆搔き	阿部野の女
寒行僧うす刃のごとくよぎりけり		岡部 玄治

俳句大会ご案内

◇第28回雑草園祭

- 期日 4月25日（日） ○会場 日本現代詩歌文学館 ○受付 9：30～
- 当日句 11：00締切（詩歌の森公園・雑草園の囀目雑詠2句） ○開会 11：05
- 参加料 1,000円（昼食各自）
- 記念講演 講師 小畑柚流先生（『樹氷』『天為』同人）
演題 「岩手夏草会の回顧」
- 募集句 3月1日締切（冬季・春季雑詠2句1組1,000円 小為替で同時送金 何組でも可）
*投句先 〒024-0032 北上市川岸4-4-13菅原典子方「第28回雑草園祭」事務局宛

◇第63回啄木祭全国俳句大会

- 期日 5月9日（日） ○会場 渋民公民館大会議室（盛岡市渋民文化会館内）
- 当日句 11：00締切（当季雑詠2句 ただし春季・啄木忌も可） ○開会 12：00
- 募集句 3月末日締切（当季雑詠2句1組1,000円 小為替等で同時送金
未発表 何組でも可）
*投句先 〒020-0861 盛岡市仙北2丁目28-50石澤利男方「啄木祭全国俳句大会事務局」宛

◇岩手県俳句連盟通常総会・県下俳句大会

- 期日 6月13日（日） ○会場 岩手県公会堂（盛岡市内丸）
- 受付 9：30～ ○総会 10：30～
- 第40回岩手県下俳句大会
 - ①当日句 11：00締切（当季雑詠3句） 参加料1,500円（昼食各自）
 - ②事前投句 4月20日（火）締切（当季雑詠2句1組1,000円 定額小為替で同時送金
何組でも可）
- *送付先 〒028-4302岩手郡岩手町大坊2-34-8山口國男方
「第40回県下俳句大会募集句係」宛

☆お知らせ

○令和2年度岩手県俳人協会会員作品集（第42号）を1冊1,000円で販売しております。またこれまでの作品集もいくらか残っておりますので、ご入用の方は事務局までご連絡下さい。

事務局；019-661-4816 二階堂光江